

# 糖尿病

## 現状(これまでの取組を含む)

### ○糖尿病・メタボリックシンドローム予防

#### 1 現状

- ・糖尿病予備群・有病者(40歳から74歳まで)の割合(平成25年から平成27年まで)
  - 男性 予備群 11.0% 有病者 20.3%
  - 女性 予備群 14.7% 有病者 11.8%
- ・メタボリックシンドロームの予備群・該当者(20歳以上)の割合(平成26年度)
  - 予備群 11.6% 該当者 13.6%
- ・区市町村国保の状況(平成27年度)
  - 特定健診受診率 44.9% 特定保健指導実施率 15.7%
  - メタボリックシンドローム該当者の減少率 23.3%
  - メタボリックシンドローム予備群の減少率 23.1%

#### 2 これまでの取組状況

- (1) 糖尿病・メタボリックシンドロームに関する普及啓発
  - ・生活習慣改善に向けたウェルネス・チャレンジの実施
  - ・世界糖尿病デーの都庁舎ブルーライトアップ
  - ・予防啓発動画などによる普及啓発
- (2) 区市町村の取組支援
  - ・健康づくり事業推進指導者育成研修による人材育成
  - ・区市町村が行う糖尿病・メタボリックシンドローム予防対策事業への経費補助(平成28年度 14区市へ補助)
  - ・特定健診・特定保健指導の実施率の高い区市町村国保に調整交付金を交付(平成28年度 43区市町村へ交付)
- (3) 職域の取組支援
  - ・取組企業を支援する職域健康づくり推進事業の実施
  - ・講演会の実施
  - ・糖尿病予防対策のヒントを紹介するパンフレット配布

### ○糖尿病医療

#### 1 現状

- (1) 疾病の状況(人口10万人対)
  - ・糖尿病による失明発症率(前回計画時実績との比較)
    - 平成26年度 1.39 (0.39ポイント減)
  - ・糖尿病腎症による新規透析導入率(〃)
    - 平成26年 11.45 (0.19ポイント増)
  - ・糖尿病の年齢調整死亡率(〃)
    - 平成26年 男性 6.0 (1.1ポイント減) 女性 2.4 (0.7ポイント減)

#### (2) 医療機関等の状況

- ・糖尿病地域連携の登録医療機関(平成29年4月1日現在)
  - 病院159、診療所1,961、歯科診療所1,425 計3,545
- ・糖尿病医療に関わる人材(27年度末)
  - 東京都医師会糖尿病予防推進医講習会修了者 975人
  - 日本糖尿病協会登録医・療養指導医(都内) 415人
  - 日本糖尿病療養指導士(CDEJ) 1,784人
  - 糖尿病療養指導士(LCDE) 1,753人

#### 2 これまでの取組状況

- (1) 地域連携に係る取組
  - ・糖尿病医療連携推進協議会、圏域別検討会(12医療圏)
  - ・「糖尿病地域連携の登録医療機関」の登録・運用(登録機関数3,545機関(平成29年4月1日時点))
- (2) 糖尿病に対する普及啓発
  - ・圏域別検討会における地域の住民及び医療従事者に対する普及啓発

# 糖尿病

## 課題

### ○糖尿病予防・メタボリックシンドローム予防

#### 1 糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施

多くの都民がメタボリックシンドロームの該当者、糖尿病の予備群、有病者となっており、深刻な合併症の発症者も一定程度いることなどから、発症・重症化予防に向け、引き続き都民の意識醸成を図っていくことが必要

#### 2 糖尿病の発症・重症化の予防に向けた取組促進が必要

- ・多くの都民が糖尿病の予備群、有病者となっており、深刻な合併症の発症者も一定程度いることなどから、発症・重症化予防に向けた区市町村や事業者等の取組を、引き続き支援することが必要
- ・特定健診・特定保健指導の実施率向上が必要
- ・重症化予防に取り組む区市町村等の数を増やし、医療機関未受診者に対する受診勧奨や、重症化リスクのある対象者への個別指導の取組を広げていくことが必要

### ○糖尿病医療

#### 1 予防から治療までの医療連携の強化を図る必要

- (1) 区市町村等における発症・重症化予防の取組との連携の強化が必要
- (2) 「糖尿病地域連携の登録医療機関」を中心として、多職種との糖尿病医療連携を図る必要

#### 2 地域連携に係る実効性のある取組の促進が必要

- (1) 「糖尿病地域連携の登録医療機関」に参画する医療機関数を増やすとともに、登録医療機関制度を活用した取組の推進
- (2) 圏域別検討会の取組など、広域連携の充実

#### 3 糖尿病に対する普及啓発が必要

住民に身近な区市町村や関係団体等との連携により、きめ細かく行うことが必要

## 今後の方向性

### ○糖尿病・メタボリックシンドローム予防

#### 1 糖尿病・メタボリックシンドロームに関するより効果的な普及啓発の実施

#### 2 糖尿病の発症・重症化の予防に向けた取組促進

### ○糖尿病医療

#### 1 予防から治療までの医療連携の強化

#### 2 地域連携により実効性のある取組

#### 3 糖尿病に対する普及啓発の促進

# 糖尿病

## ○糖尿病・メタボリックシンドローム予防

### （取組1）糖尿病・メタボリックシンドロームの予防に関するより効果的な普及啓発の実施

- 糖尿病やメタボリックシンドロームを予防するための負担感のない生活習慣改善の工夫、定期的な健診受診や必要に応じ早期に医療機関を受診し、治療を継続することの重要性等、糖尿病の発症・重症化予防について、都民の理解を一層深めていくため、引き続き、都民への普及啓発を実施

### （取組2）糖尿病の発症・重症化予防に向けた取組促進

- 区市町村や事業者等における糖尿病の早期発見から受診促進の取組を支援
- 都が策定する「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に沿って、区市町村国保と地区医師会・かかりつけ医等との連携強化を図るとともに、糖尿病対策に係る会議等において情報提供や課題の共有等を行い、区市町村国保による効果的な取組を推進

## ○糖尿病医療

### （取組1）予防から治療までの医療連携の強化を図る

- 予防、健診、保健指導を行う区市町村や医療保険者との連携を強化
- 予防から初期・安定期治療、専門治療、急性増悪時治療、慢性合併症治療の各医療機能を切れ目なく提供するため「かかりつけ医」「専門医」「かかりつけ眼科医・歯科医等」の相互連携による「糖尿病地域連携の登録医療機関」の取組を推進
- 医師、歯科医師、管理栄養士、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、臨床検査技師など多職種 of 医療連携を推進

### （取組2）地域連携により実効性ある取組を行う

- 糖尿病医療連携協議会、糖尿病医療連携圏域別検討会による医療連携体制の評価・検討
- 圏域別検討会による圏域ごとの多様な職種を対象とした連絡会、勉強会の開催
- 「糖尿病地域連携の登録医療機関」の増加、連携率（紹介・逆紹介等）の強化、医療連携ツールの活用促進

### （取組3）糖尿病に関する普及啓発を推進する

- 各圏域で実施されている都民向け講演会等を引き続き実施し、糖尿病に関する正しい知識や治療継続の重要性等、糖尿病に対する普及啓発の促進